

大阪南ロータリークラブ会報

第 804 号
2025 年 2 月



事務局 〒536-0011 大阪市浪速区日本橋西 1-2-11
マルニビル7階B
例会日 毎週火曜日 午後 0 時 30 分
例会場 センタラグランドホテル大阪 3 階
会長 草島 葉子 幹事 ハッ橋 直

第 3 回クラブフォーラム

職業奉仕部門

日 時：2025 年 1 月 28 日（火）
午後 17 時 30 分登録、午後 17 時 50 分開会
場 所：ガーデンシティクラブ大阪
北区梅田 2-5-25 ハービス OSAKA6F
☎ (6343) 7770
討議部門：職業奉仕部門
形 式：バズセッション

E テーブル ◎三原、入江、小林二、小松、
大原、岡村、山田
F テーブル ◎森、下條、伊藤勝、菰田、
岡本直、杣、末澤
G テーブル ◎暁、青山、岩崎、城戸、
飯井、山本ハ、横山慶
H テーブル ◎佐藤元、原田、川谷、木村、
新田一、鮫島
I テーブル ◎西本、長谷川孝、木本、中島、
世古口、下井、由谷

議 題：

- ① 大阪南 RC の特徴を生かした新たな職業奉仕事業の案はなんですか？
- ② 2025 年大阪・関西万博の機会に、ロータリアンとして職業上の手腕を社会の問題やニーズにどのような形で役立てそうですか？
またクラブとしてどんな事業があればいいですか？

出席者（敬称略 順不同） 60 名

◎テーブルマスター

- A テーブル 草島、新開、小八木、天野、
上甲、松山、河野
B テーブル ◎米田秀、井原、一瓢、小畑、
黒田、清水、武田
C テーブル ◎小川、堀、伊藤芳、坂口、
寺川、山岡
D テーブル ◎岩谷、小林豊、桑原、宮川、
山本和、ハッ橋



1、開会挨拶：草島会長

お昼に続きまして、皆様こんばんは。河野理事、本日は会場のお世話をいただきましてありがとうございます。なんといいましても奉仕の理想をとということです。誰かの役に立つということはとても大切な事だと思います。



2024-2025
のテーマ

THE MAGIC OF ROTARY:ロータリーのマジック ステファニー A.アーチック RI会長
「恕(おもいやり)の心を育む未来へ」～奉仕のところで奇跡を起こす～ 草島 葉子会長

さて、今日のクラブフォーラムですが、職業奉仕でどんなことができるのか、特に今年は大阪・関西万博がごございますので、皆様と杯を交えながら考えていければと思っております。6月には台北中央RCのロータリアンが来られ、元RI会長も同行されるということでございますので、台北の皆様楽しんでいただく為に研究していかなければならないと思っております。今日この後、楽しい有意義なお時間をご一緒したいと思います。よろしく願い申し上げます。

2、テーブルマスター指名：八ッ橋幹事



3、ゼネラルリーダー議題説明：

米田秀職業奉仕委員長

今回のフォーラム議題を用意された資料に基づき説明された。



4、キーノートスピーチ：

天野元会長

前々回の例会で米田秀委員長が職業奉仕の概要について詳しく説明され、その内容が網羅されていると感じました。私は以前、職業奉仕の委員長を務めた際に少し勉強したことがあり、その経験が今回の機会に繋がったと思います。

職業奉仕の難しさは、自分の仕事を通じて奉仕活動を行うことであり、職業そのもので自己を高めることが直接的な奉仕活動となることです。また、自分の職業スキルを奉仕活動に活用することも間接的な奉仕活動です。

今日は、自分たちが仕事を通じて何をしているのかについてお話ししたいと思います。米田委員長のお話では、日常業務の中で自分ができることをチェックし、7割はできているが、残りの3割が難しい部分であると感じたとのことでした。今日は、仕事を通じて職業奉仕を主体的に行うことについて、いくつかのテーマに分けて話されました。

まず、DEI（ダイバーシティ・エクイティ・インクルージョン）について触れられました。アメリカやヨーロッパでは、多民族国家や移民の流入に伴い、DEIが重要な課題となっています。日本ではあまり馴染みがないかもしれませんが、異なる背景を持つ人々を公平に扱い、生産性を向上させるための取り組みが進められています。

具体例として、身長異なる3人がフェンス越しに野球を見るシーンが紹介されました。同じ高さの台を提供するのが平等（Equality）であり、異なる高さの台を提供して全員が同じ視界を得られるようにするのが公平（Equity）です。この違いを理解することが重要とされました。

アメリカではアファーマティブアクション

が実施されており、黒人を優遇する取り組みが行われていますが、最近のトランプ大統領の政策で DEI プログラムが終了されるなど、議論が続いています。ロータリアンとしても、このような課題に対して深く考える必要があることが強調されました。

昔の経験として、プロジェクトリーダーとしての話がありました。優秀な部下が定時に帰り、他のメンバーからチームとして成り立たないと不満が出ました。部下は高効率で仕事をこなし、他のメンバーの能率の低さを指摘しました。この経験を通じて、上司としての指示の曖昧さを痛感しました。適切な指示を出さないことが問題の一因であると気づき、日本人の仕事の仕方の曖昧さについて考える機会となりました。

あと、4つのテストの翻訳が適切かどうかです。「公平」と訳されているのは実際には「公正」と翻訳されるべきですが、長くなりますので皆さんに宿題とします。

グッドウィル (Goodwill) についてお話しします。グッドウィルは「好意」と言われますが、本来の意味は「信用」「評判」「のれん」です。ロータリアンの規約では、会員の資格として評判の良さが求められています。評判が良いというのは、自分が正しいことをしているかどうかではなく、他人からの評価で決まります。商売はほとんど信用で成り立っています。

また、「みんなのためになるかどうか (オールコンサーニド)」についてです。これは関係しているすべての人を対象としており、取引先、顧客、従業員など、企業として活動する際に関係するすべての人々にとって役に立つかどうかを問います。競合先も含むべき

です。

近代の戦争は政治で始まりますが、その背後には経済が原因となっています。例えば、日本が第二次世界大戦に突入したのは石油を止められたからであり、ドイツも賠償金の支払いが原因でした。ロータリーの平和論が重要になってきます。

三方よしについてお話しします。「ロータリーの友」2022年1月号に紹介された江戸時代の商家の話に基づいています。「売り手よし、買い手よし、世間よし」を意味し、商売の基本理念として取引先、顧客、そして社会全体に利益をもたらすことが重要とされています。幕府に対しても従順であり、失敗しても世間に礼を尽くすという精神が強調されています。

また、貨幣は平和を前提に成り立っており、戦争になると経済が影響を受けるため、平和が経済の基盤であることが指摘されました。石田梅岩の石門心学に通じ、当時の商人は非常に低い身分にありましたが、今の日本では商売人がトップを走っています。経済人がトップを走る中で、謙虚さが欠如しています。これは重要な課題であり、再考する必要があります。

トップが寛容の精神を失うと争いの原因になる可能性があり、寛容さを持つことが求められています。

日本の職人の話についてです。大工の棟梁の西岡常一さんのお弟子さんで小川光夫さんという方の話が、「ロータリーの友」2025年1月号に書かれています。

日本の職人は「無駄をさせて、無駄に気づかせ、無駄をなくす」という考え方を持っています。弟子の修行方法として、道具を使い

ながら自分を鍛え、成長させるための方法が取られます。手取り足取りの指導は行わず、自ら学び取ることが重視されます。顔を出して修行することが苦しいのではなく、顔を出さないことで修行の負担が軽くなるということです。

また、「私の履歴書」の岡藤さんの話で、彼はコンプレックスの塊から始まり、営業に出た際には上司から「お客さんの前で絶対に喋るな」と言われた屈辱を経験しました。しかし、その経験が若いサラリーマンに元気を与えるエピソードとして紹介されています。

これらの話を通じて、高潔性、職業倫理、公正さについても触れられました。思いやりとは何か、自分を犠牲にしてまで思いやることが本当に自己満足に陥らないか、バランスを見つけることが重要です。どんなバランスがベストなのかを日々考えながら取り組むよう頑張ってください。



5、乾杯：小八木元会長

私は現役を引退しておりますが、昨今の情勢を考えると、職業奉仕とは少しずれますが、最近の経営者の方々は本当にご苦労様です。コンプライアンスや環境 ESG、SDGs、ハラスメント対策など、大企業では各セクションの長が対応できますが、中小企業の皆さんは自分で全部を解決しなければならず、本当に大変だと思います。

このような状況で、職業を通じて奉仕活動に繋がることもあるでしょう。天野さんも言われたかもしれませんが、最近の動向を見ても、一人ひとりの倫理観を高めることが重要です。この苦しい環境の中で、ご出席の皆さんの事業が順調に進むことを祈念し、また、いつも同じ顔を見て乾杯することが少し寂しいですが、引き続きクラブ活動が順調に進むことを祈念して乾杯したいと思います。

6、テーブルマスター報告



Bテーブル：米田秀職業奉仕委員長

- ・昨年度の中村年度の最後に「4つのテスト」の大きな紙を受け取ったことについて、どう扱っているかという話がありました。職業に直結するかと言えば道徳的な側面もあるため、どのようにして見てもらえるかを考え、字体をもっとかっこよくするなどの工夫も議論しました。そして、4つのテストを自らの決意や戒めとしてもっと使うことが大事だとの話がありました。
- ・新しい出前授業として城南学園以外に、生野区のインターナショナルスクールを対象に考えることの提案がありました。最近、主に東南アジア系や中国の方々を対象にしたインターナショナルスクールが2つできたとのことで、そこでもロータリーの精神を広めるのが良いのではないかという話です。次年度でこの提案をぜひ検討してほしい。

いと思います。

- ・きんでんさんが、技能五輪国際大会で金メダルを獲得しているとのお話があり、職場見学会として如何かとの話になりました。



Cテーブル：小川職業奉仕副委員長

- ・今回の議題に沿って、大阪南ロータリーの特徴を生かした新しい職業奉仕事業について議論しました。大阪南ロータリーの特徴として以下の点が挙げられました。

- ①やんちゃ：中村直前会長もやんちゃが特徴だと述べており、地元の方々も多様な背景を持っています。
- ②女性メンバーが多い：ロータリーでは珍しく、女性がしっかりと入会できることが特徴です。
- ③多様性に富む：メンバー数が多く、多様な人々が所属しています。
- ④仲が良い：メンバー同士の交流がフランクで、みんな仲が良いことが特徴です。

これらの特徴を生かして、新しい職業奉仕事業を考えていくことが重要だという議論がありました。

- ・JC（青年会議所）のメンバーが多く、その良い文化が大阪南ロータリーにも流れ込んでいることが良いと話がありました。特にJCの運営に慣れている方が多く、その経験が役立っているという話がありました。一方、一方で頼りすぎているのではないかと

いう意見も出ました。このように、JCの良い文化が大阪南ロータリーにしっかりと根付いているという話がありました。

- ・新しい職業奉仕の案として、3つの提案が出ました。

- ①模擬裁判：弁護士が多いことから、小学生や中学生向けの模擬裁判を実施し、奉仕活動として役立てる。
- ②職場見学会の拡充：見学先の希望を募り、大阪南ロータリー以外のロータリーの協力を得て、幅広い見学先を提供する。例えば、NHK以外の放送局の見学など。
- ③女性職業奉仕活動：女性メンバーが多いことから、DEIの理解を深めるディスカッションを行う。また、中高生の特に女性に対して、女性の働き方について教える活動を行う。

これらの提案のうち、どれか1つでも実現できれば良いと考えています。



Dテーブル：岩谷職業奉仕委員

- ・大阪南ロータリークラブはインターアクトが2つ、ローターアクトが2つあり、青少年が多いことが特徴です。職業を通じて自己を高める倫理教育を重視し、メンバーと青少年の交流を図りながら意識を高めることが重要です。新しい事業として訓練と学びの場を提供し、南ロータリークラブの会員がフォローする事業を提案したいと思い

ます。倫理観と公平性を高める教育に加えて、強い精神力を養い、海外進出への足掛かりにもなると思います。事業を通じ、若い世代とクラブのメンバー双方が学び合うことが大切で、経営能力や経済力を若い世代に教え、またメンバーも若い世代から学ぶことがあると考えます。これによって、両者にとって有意義な事業になると思います。

- ・インターアクトの合同事業を引き続き開催する提案について議論しました。先日、佐藤元委員が講師を務めた自己表現や他者とのコミュニケーション力を高める授業が非常に有意義だったことから、このような授業を継続して続けるべきではないかという意見が出ました。
- ・大阪南ロータリークラブのメンバー企業を訪問し、会員の姿勢や職業観を実際に学び、情報交換をする機会を設けるという話がありました。この活動により、相互に学び合い、職業奉仕の精神を深めることに通じると思います。



Eテーブル：三原職業奉仕委員

- ・議題として予算の問題が再度取り上げられ、現在の予算10万円では少なすぎるという意見が出ました。予算を増やすために、地区からの補助金を50万円受け取り、大阪南ロータリーの資金と合わせて総額100万

円の予算で職業奉仕事業を実施するのが良いとの話がありました。

- ・出前授業に関して、これまでは5年生や6年生の小学生を対象としていましたが、年齢層を上げて高校生を対象にする提案がありました。その中で、ビジネスコンテストのような形で、高校生に企業創業のきっかけを与える活動を行うことが良いのではないかという意見が出ました。
- ・大阪南ロータリークラブの特徴として、会員数が多いことが挙げられます。会員数が多いということは、職業分類も多岐にわたるため、その多様性を活かした活動を行うという意見が出ました。
- ・職場見学会では大手企業が多いが、中小企業も訪問し、多様な企業を見学するのがいいという意見がありました。
- ・職業奉仕は利益を生み、しっかりと税金を払うことが根本にあるとの意見がありました。



Fテーブル：森職業奉仕委員

- ・5大奉仕の区切りを固定することが適切かどうかの議論がありました。特に中学生の職場体験は青少年奉仕に分類されるべきで、枠を外すことで予算の組み方も変わってくる可能性があるとの意見がありました。
- ・最近入会する方が多いことから、新入会員

の会社訪問を行い、自己紹介に加えて、自分の会社やその社会奉仕活動についてもアピールする機会を設けるという提案がありました。これにより、会員同士の理解が深まり、企業や社会奉仕活動についての情報交換が進むことになるとの意見がありました。

- ・出前授業を小学生だけでなく、希望する会員企業の社員を対象に行う提案がありました。南ロータリーの会員の活動を紹介することで、社員の教育にも役立つとの意見がありました。
- ・奉仕こそわが勤めという言葉があります。人のために尽くす道は色々あるが、日常できることは自分の職場を通じての奉仕活動。その実践こそがロータリーの本領であると考えます。
- ・中学生が保育ルームでの職場体験を行い、2歳、3歳の子供のおむつ替えやトイレ、食事の手伝いを通じて、自分の両親の苦労を理解する体験をしました。その体験を通じて、人口問題についても考え、家に帰って弟や妹を作ってほしいと親に頼む感想を書きました。このような職場体験が非常に有意義であることがわかりました。中学生の職場体験を他の場所でも実施することをお願いしたいと思います。



Gテーブル：暁国際交流委員

- ・フジテレビの事例から倫理観と職業意思の重要性が指摘されました。また、権限がある場所には責任が伴うことが経営者にとって重要との意見がありました。
- ・大阪南ロータリーは女性が多く、大企業から中小企業、老舗企業まで多様なメンバーがいることが特徴です。多様性がこれからの重要な要素であり、外国人メンバーの参加を促進して情報交換を進めることが良いとの意見がありました。
- ・メンバーの企業訪問を積極的に行い、企業秘密ギリギリまで学び、各社に持ち帰って社会貢献に繋げることが重要との意見がありました。



Hテーブル：佐藤元広報委員

- ・大阪南ロータリークラブの特徴を明確にすることが重要とされました。特徴を明かすためには比較が必要であり、大阪北ロータリークラブと比較すると、大阪北ロータリークラブは暗く、大阪南ロータリークラブは明るいという違いが指摘されました。
- ・大阪南ロータリークラブの特徴には、「伝統と格式」があり、最近の新入会員紹介でもこれが強調されています。運営や仕組みがしっかりしているという意見もありました。
- ・自分の仕事のレベルを上げ、社会に奉仕することが最重要とされ、土台として倫理観

が重要視されているという意見がありました。

- ・イーロンマスク氏の動画を引用し、AIの未来について倫理観が重要であることが指摘されました。これと同じく、ロータリアンとしての行動にも倫理観が不可欠だという意見がありました。
- ・ロータリアンは大阪・関西万博に参加し、職業奉仕を実践することが結論としてまとめられました。



I テーブル：西本副SAA

- ・職業奉仕について、「天職を持って一つの仕事に集中して全うすることが真の仕事だ」という言葉に納得しました。
- ・副業を進めていく風潮について議論があり、日本の弱体化につながる懸念があるという意見がありました。
- ・議論が愛国心について盛り上がり、最終的には日本をなんとかしなければならぬという議論がありました。
- ・大阪南ロータリークラブの特徴は約200名の会員がいる中で職業分類が多いことが特徴ですが、同業種も存在するため、様々な見方ができるとの意見がありました。
- ・小学生だけでなく、中学生や高校生、特に進路に悩む学生に対して出前授業や進路相談を行うという意見がありました。



7、ゼネラルリーダー講評：河野理事

皆さん、こんばんは。冒頭、草島会長からご紹介いただきました。私、ここのホスト役を務めており、まるでホームでやっているような気分ですが、皆さんのお話を聞いていて、まとめるのが大変だと感じました。

天野元会長、キーノートスピーチありがとうございました。様々なジャンルにわたる話題で、非常に勉強になりました。本当に多岐にわたるお話をいただきました。

二つの課題についてですが、まず一つ目の「南ロータリーの特徴を生かす」ことに関しては、やんちゃ、女性が多い、多様性といった特徴をうまく活かしている点が非常に良いと思います。特に模擬裁判が面白いアイデアであり、伊藤さんが絶対来年実施すると意気込んでいるので、次年度につなげていきたいと考えています。また、予算10万円の問題についても、引き継いだ時からずっと言われており、地区補助金を活用して100万円の予算を確保することが重要だと思います。森さんのお話も皆さん喜んでおられ、人口増加にも繋がるので、1人っ子をなくすための活動も続けていかないといけないと感じました。

二つ目の大阪・関西万博についてのテーマは難しすぎたため、ロータリアンが大阪・関

西万博に5回以上行くことを新開年度の宿題とさせていただきたいと思います。どうもありがとうございました。



いかどうかはわかりませんが、そういう考え方もあるということです。皆さんの職業奉仕が実現できる場合は、きっとあると思います。お疲れ様でした。ありがとうございました。

(文責： 副幹事 清水 久博)

8、閉会挨拶：上甲副会長

皆さんお疲れ様でございました。トランプ大統領がダイバーシティを否定していますが、南ロータリーはダイバーシティの塊であるということが今日の発表でよくわかったと思います。模擬裁判の話が出ましたが、私はやめておいた方がいいと思っています。大阪南ロータリーで職業奉仕委員会に所属したこともあります。4年間地区の職業奉仕委員会に出向し最終年度は委員長を務めました。出向時に、「職業奉仕の奉仕っていうのはボランティアじゃないんだ、世の中のニーズに応えるすなわちサーブすることが奉仕なんだ。職業を通じて、世の中のニーズ、社会のニーズ、皆さんのニーズに応えるのが職業奉仕なんだ。」という話を聞き、とても合点がいきました。

私の場合、無料法律相談するのが職業奉仕ではなく、有料で社会のためになる、みんなのためになる、何か人の役に立てば、それは職業奉仕なんです。そういう意味で皆さんの職業の中で、世の中のため、みんなのため、何かの人の役に立つためにやるのが職業奉仕なんだということです。それが本当に正し

1 月定例理事会

協議事項

1. 細則第7条第2節（年会費減免）における職種追加の件
2. クラブフォーラム（社会奉仕部門）開催の件

審議事項

1. 後期新入会員研修セミナー兼交流懇親会の件

報告事項

1. 第2回クラブアセンブリー開催の件
2. 第3回クラブフォーラム（職業奉仕部門）出席状況
3. 出前授業の件
4. EXPO フェスタ登録状況
5. ニコニコの件
6. その他

ニコニコ箱へ

ラスベガス RC

デビッド・ユゼビッチ 会員から ・沢山のロータリアンの皆様のおかげでこの4月より日本に永住することになりました。今後は、日本のロータリーでもお役に立てるよう頑張りますのでご指導ご鞭撻よろしくお願いいたします。

大阪 RC

山本 章弘 会員から ・いつも同じメッセージですみません「妻がお休みばかりで申し訳ありません。」

伊東 RC

上村 昌延 会員から ・台北では大阪の皆様にお世話になりありがとうございました。

大阪ユニバーサルシティ RC から ・4月19日（土）に IM 第5組 EXPO フェスタをユニバーサル・スタジオ・ジャパンで開催いたします。多数のご参加、よろしくお願い申し上げます。

後藤 謙治 会員から ・スキー同好会北海道ツアー、「怪我だけはないように」と、行きのバス内で山和代表幹事からの挨拶の後、ゲレンデで滑る前に、ホテル玄関で滑って救急車出動するという、右指脱臼（だっきゅう）騒動。笑ってはいけないのに、何故かみんな大爆笑！夜、雪降る露天風呂で、湯煙の中、手を上げて入っている寺川さん、素敵でした！

濱口 健宏 会員から ・すっかりご無沙汰しております。久しぶりの例会出席です。

寶來扶佐子 会員から ・ただいま!!

堀 直人 会員から ・スキー同好会、北海道遠征にご参加のみなさま、お疲れ様でした。終始ネタと笑いが尽きず、非常に濃厚な三日間でした。スキーでなのか、笑いすぎてなのかわかりませんが、脇腹が筋肉痛です。（笑）お世話いただいた山本幹事、岡村会計、中村宴会部長、山岡スクール長、ありがとうございました。

伊藤 勝彦 会員から ・スキー同好会旅行に参加しました。みなさんにお世話になり、楽しかったです。

- 川谷 周平 会員から ・昨年に続き、先週金曜日よりスキー同好会にて小樽の朝里川温泉スキー場へ、皆さんと共に参加して参りました。団長、宴会部長、会計、幹事を始め皆様、本当に楽しい時間を有難う御座いました。来年の白馬、今から楽しみです！有難う御座いました。
- 木下 仁湊 会員から ・北海道スキー同好会、メチャ楽しかったです。来年の長野県白馬、今から楽しみにしています。
- 岸上 新弥 会員から ・今年も楽しかったです。山本幹事はじめスタッフの皆様ありがとうございました。今から来年の白馬が楽しみです。
- 菰田 哲也 会員から ・笑顔・えがおのスキーツアーでした。おかげさまで5歳ほど若返りました。山本塾長、山岡コーチ、中村宴会部長をはじめスキー同好会のみなさんありがとうございました。
- 河野 修 会員から ・昨日、城南学園の出前授業がありました。子供達の万博に向けての期待が、ひしひしと伝わってきました。米田委員長、小川副委員長お疲れ様でした。
・現役生活がもう少し伸びました。万博盛り上げていきます。
- 越井 潤 会員から ・本日もよろしくお願いします。
・本日もよろしくお願いいたします。
- 小八木規之 会員から ・家族会大変楽しかったです。友好委員会の皆様大変ありがとうございました。
- 久我 三郎 会員から ・山路友好委員長はじめ友好委員会の皆様、柚様、家族会の際は、大変お世話になりました。
- 栗原 大 会員から ・皆様、先週のスキー同好会お疲れ様でした。山カズ世話役、岡村会計、中村宴会部長、山岡インストラクター、菰田広報、大変お世話になりました。毎年恒例の色々なアクシデントがあり、今年も後世に語り継がれる旅行になったと思います。皆様ありがとうございました。
- 草島 葉子 会員から ・雪降る中、歌舞伎にお鍋とっても美しい1日ありがとうございました！松山副会長、会員友好の皆様、感謝感謝です。
- 松田 朋浩 会員から ・泣く泣くの連続欠席、ごめんなさい!!
- 松井 次郎 会員から ・勤務先の名称変更ですが、丸石工業ではなく、九石工業でお願い致します。
- 松山 大祐 会員から ・職場見学会、河野理事、米田委員長、小川副委員長ありがとうございました。大変楽しく勉強になりました。
・立春家族会、参加いただいた皆様ありがとうございました。山路委員長はじめ会員友好の皆様に感謝！
・スキー同好会ツアーのLINEグループの、写真アルバムを寝ぼけて消してしまいました。皆様、再度アップ申し訳ありませんでした。ツアーは最高でした。皆様に感謝。
- 飯井 克典 会員から ・スキー同好会の皆様、本当にありがとうございました。山本さん、いつもありがとうございました。こんなにしんどいとは思ってもよらなかったです。
- 中村 剛 会員から ・膝の人口関節の手術が無事に終わり、リハビリも早く済み2週間で退院出来ました。ありがとうございます。
・皆様、テーブルの生チョコレート是非お持ち帰りください。私からの気持ちです。決してバレンタインで販売した売れ残りではありません。生チョコです。要冷蔵で保管お願いします。
・先週14日から16日とスキー同好会で小樽の朝里スキー場へ行ってきました。総勢23名の参加者は、武田太郎同好会会長の19本のビールの差入れを誠に喜んでおりました。ありがとうございました。
- 中尾 徹司 会員から ・昨日行われました城南学園小学校での「出前授業」に多くの皆様に御来校いただきありがとうございました。今後とも宜しくお願いい致します。

- 小川 成子 会員から ・お誕生日のお祝いをいただきました。ありがとうございます。
- 岡村 良弘 会員から ・2月14日から16日のスキー同好会ツアーには23人もご参加いただきました。色々なハプニングもありましたが、楽しく有意義な3日間でした。ありがとうございました。
- 澤村 剛士 会員から ・1月に長女が二人目を無事に出産いたしました。これで孫が6人になりましたが、初めての女の子です。
- 島本 恭次 会員から ・山本和様、スキー同好会の皆様、すばらしいメンバーと良い天気感謝！
- 下井 謙政 会員から ・1月28日のクラブフォーラム後の二次会のお釣りをニコニコさせていただきます。
・山本塾長、山岡校長、中村宴会部長、岡村会計、参加者の皆様、3日間ありがとうございました。楽しいスキーツアーでした！寺川さんお大事に!!
- 庄司 茂 会員から ・立春家族会、伝統芸能の歌舞伎は素敵でした。山路委員長ほか、会員友好委員会の皆様、お世話になりありがとうございました。
- 柚 俊平 会員から ・スキーツアーお世話になりました。みなさん笑顔満開で楽しいツアーでした。ありがとうございました。
- 武田 太郎 会員から ・片山パストガバナーようこそお越しいただきありがとうございます。
- 寺川 明宏 会員から ・「ゆーゆー指が〜！」スキー滑れず残念でした。皆様大変ご迷惑をおかけしました！
- 山路 晃誉 会員から ・先日は立春家族会へのご参加ありがとうございました。皆様のご協力のもと、無事に事業を終えることが出来ました。
- 山本 和良 会員から ・若干のトラブルはありましたが、無事同好会スキーツアーを終えることが出来ました。総勢23名の大所帯でしたが笑いの絶えない旅行でした。スキーが出来ないのに宴会部長としてご参加頂きました中村さん、早朝より差し入れを持ってお見送りに来て頂きました武田さん、そしてご参加頂きました皆さまに深く感謝申し上げます。ありがとうございました。
- 山岡 大 会員から ・スキースクールに沢山入っていただきありがとうございました。
山岡スキースクール校長より
- 横山 慶治 会員から ・小樽スキーツアーありがとうございました。

本年度目標額 600万 2月 18日現在 累計 4,643,970 円